



父母と学ぶ会だより

No. 60 研修報告号～R7年6月発行



令和7年度ゆいまある施設内研修計画



R7年度のテーマ《利用者が安心して過ごせる施設にするために》

ゆいまあるの理念にもある「親も子も安心して通える場」の実現のために、まず「安心」するためには何が必要か？について職員一人一人が考えることが欠かせません。虐待がない事、人として尊重されることも「安心」のために必要なことです。今年も虐待と身体拘束の防止の研修を行い、取り組んでいきます。

またR6年度は地震や豪雨などの天災が各地で起きた年でした。災害時の「安心」のために災害時にも支援を提供するためには何が必要か？を考えると災害で出勤できない職員を補ったり、避難先の避難所で初めての人と関わることが想定されます。ボランティア等初めて関わる人に必要な情報や支援方法を伝えるために、当所では利用者さん1人1人に「災害時支援計画」を作成・5年に一度更新しています。今年は更新の年にあたるため、施設内研修としても計画作成を行い、職員全体で共通理解していきます。

サービス管理責任者 栗田百江

施設内研修

救命講座

令和7年3月3日（月）

研修担当

令和7年3月3日に父母と学ぶ会研修会を開催しました。今回は3年に一度実施している救命講座入門コースを駿河消防署の職員を招き行いました。救命講座は何回か実施していますが、法改正やコロナ禍などの情勢によってやり方が変化しています。今回の講師は主に救急車に乗って出動していた経験豊富な方で、ユニバーサルドライバー（視覚障害者の専門ドライバー）の資格を持っていました。

まず、人命救助をする時に大切なこと

- ① 自分の身を守る（二次災害に合わないこと）
- ② 周囲の安全の確認・助けを呼ぶ
- ③ 心臓が止まっている場合、救急車が到着するまで心肺蘇生法を行う
（胸骨圧迫・AED・人工呼吸）



質疑応答の時間では救急車に乗っていた時のエピソードなど、救命に携わっていないとわからないことをたくさん教えていただきました。興味のある方は次回の救命講習に参加してみてください。

文責 佐藤潤

施設内研修

ソーシャルワーカー研修

令和7年 3月24日 (月)

担当：栗田(百)、佐藤、宇佐美

利用者や保護者との面談に重要な事の研修を行いました。まず始めに、バイステックの7原則という言葉を知っていますか？面談では7つの要素が必要とされています。

- ① 個別化 ②意図的な感情表出 ③統制された情緒的関与
④受容 ⑤非審判的態度 ⑥自己決定 ⑦秘密保持 の7つです。

この7つの原則を踏まえて、利用者・家族の悩みに耳を傾ける事が大切です。



次に面談の必要性についてですが、普段はご家族の話聞く機会がなかったり、事業所での様子を伝えられる事が少ない為、面談を活用しています。また、利用者・保護者のニーズを把握し、支援目標や支援内容も伝えています。面談の機会に普段聞けない事、困っている事などありましたら、支援者に聞いてみてください。今回の研修を通じて思ったことは、利用者・保護者の方と、日々コミュニケーションを取り、信頼関係を築いていくことが大切だと感じました。



文責 宇佐美友麻

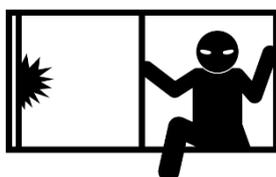
施設内研修

不審者侵入防止訓練 実施報告

令和7年6月12日 (木)

防災担当

2010年に神奈川県福祉施設で入所者45人が侵入者に殺傷された事件がありました。2021年には幼児施設に不審者が侵入し、刃物を振り回す事件も発生するなど、介護施設や障害者施設といった福祉施設などの公共施設において不審者が侵入する事件が増加してきています。ゆいまあるでも不審者侵入時の対応の訓練に毎年取り組んできました。5回目となる今年は初めて日中活動中に不審者が侵入してきた想定で、利用者さん達も参加して行いました。急に入って来る不審者に戸惑いながらも職員の誘導で避難する事ができた方が多く、日頃からの防災訓練の成果を実感できました。不審者侵入時の対応は、スピードが重要で発見後に、いかに早く周囲へ伝達できるか？で身を守る行動ができる時間が左右されます。利用者さんが安心して通える施設のために今後も取り組んでいきます。



文責 栗田百江